

共同生活援助（グループホーム）



グループホームでは体力づくりを中心に考え、土岳山登山や、小木津山自然公園散策などのレクを行いました。土岳山登山は3回目になり、以前よりも早く登りきることができました。また、夏祭りや芋煮会なども行いました。夏祭りではゴム鉄砲を自分で製作して射的を行ったり、ヨーヨー釣りを楽しんだりしました。芋煮会では利用者様自身で野菜を切ったりしました。怖がりながらも利用者様は楽しんでいる様子でした。これからも楽しめる行事を提供できるよう支援していききたいと思います。

（サービス管理責任者／入江）

イベントなど



12月23日（木）にゆい限定でクレープの移動販売を行いました。昨年も行いましたが、非常に好評で「また呼んでほしい！」との声が多数あったことを踏まえての開催となりました。列に並んでいる利用者様は楽しみにしている様子でした。頼んだクレープを受け取ってからは笑顔が絶えず、「おいしかった」との声をたくさんいただきました。



2か月に1回避難訓練を行っていますが、11月には消火器を使用した訓練もあわせて実施しました。今回は職員にのみならず、利用者様にも消火器の使用を体験いただきました。利用者様には非常に貴重な経験となったように思います。今後も様々な体験をしていただきたいと思います。

看護師より

これからの季節はインフルエンザが流行する時期であり、今年はコロナウイルスとの同時流行も懸念されています。インフルエンザに対する感染予防の方法は、コロナウイルス感染予防に対しても有効ですので、正しい予防方法で「かからない」「うつさない」を心がけ、以下の対策をお願い致します。

①流行する前にインフルエンザワクチンを接種しましょう。②こまめな手洗い、手指の消毒を心がけましょう。③正しくマスクを着用しましょう。④三密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けましょう。⑤室内は適度な湿度を保ちましょう。⑥十分な休養とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。

（看護師／平田）

リバティゆい Times

社会福祉法人 親交会
リバティ・サポートセンターゆい
〒318-0034 高萩市高萩 45-1
TEL: 0293-23-6890
FAX: 0293-23-6897
E-mail: yui@liberty-w.or.jp

第18号 令和3年(2021年) 12月発行

ご挨拶

日頃より、当法人の運営に際しご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今年も当事業所をご利用頂きありがとうございました。

今年も残すところ数日となり今年を振り返りますと、やはりコロナウイルスの影響が大きく思うようにサービスを提供出来ませんでした。感染防止に努めながらも楽しく通所して頂くために各サービスで様々な工夫や新たな取り組みを開始しました。また、10月から支援学校の皆様に実習や体験などを提供することができ、福祉事業所として貢献できたのではないかと思います。今後も社会貢献含め様々な取り組みを提供して参りますのでご協力を宜しくお願い致します。

法人全体としては、「サービスの質向上」「身体機能向上」を目的に委員会を立上げ取り組んでいます。たとえば、グループホームの入所者全員に万歩計を購入して頂き「今日は何歩歩いたか？」が目で見えるようにして運動する意欲の向上を図っています。ゆいでの生活が更に充実できるように職員一同意識を高め取り組んでいます。

本年度も残すところ三か月となりました。利用者様一人ひとりの成長を保護者の皆様感じて頂けるように職員一同更に力を尽くして参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

リバティ・サポートセンターゆい
センター長 井坂 正子

令和3年も残すところ残り僅かとなりました。今年も昨年同様、コロナウイルスの感染予防に努めながらの1年でした。また、利用者様、保護者様にも感染予防対策等にご協力いただきありがとうございました。皆様のおかげで感染する利用者様もおらず、元気に過ごした1年だと思います。そのピンチをチャンスに変え、各サービスで職員が一丸となり、利用者様が日々充実して活動ができるように創意工夫して頑張っています。コロナウイルスワクチン接種も終え、コロナウイルス感染者も全国的に減少してきたため、「ゆい」でも少しずつ行動を広げ、利用者様に様々な活動を取り入れてきました。来年こそはコロナウイルスによる色々な制限が解除され、躊躇なく全利用者様が全ての活動ができる年になりますように願っています。1度きりの人生をその人なりに有意義な時間となるように、利用者様主体で個々の特性を大切に支援をしていきます。今年1年お世話になり、ありがとうございました。

サービス管理責任者 加藤 裕子

【利用者様及びご家族様へのお願い】

コロナウイルス感染が全国各地で減少傾向にあります。しかしながら、海外から新たに「オミクロン株」が上陸し、全国でも市中感染が確認されています。「オミクロン株」は他国では猛威を振るい、感染拡大に歯止めがかからない状況です。利用者様が今まで通り通所できるよう施設も万全を尽くしますが、利用者様及びご家族の皆様におかれましてはコロナウイルス感染を防止する基本の徹底（三密の回避、手洗い、マスク着用、アルコール消毒、不要不急の外出など）を引き続き実施して頂きますようご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

活動の様子

就労継続支援B型



就労継続支援B型では、本年から本格的に野菜の生産・販売に取り組み始めました。毎週木曜日に高萩市役所、不定期ではありますが福祉センターでも野菜販売を行い、好評を博しております。利用者様は野菜栽培や販売で野菜を育てる、接客することの楽しさや楽しさを感じている様子です。その他に芋煮会やカレー作りを行い、自分たちで育てた野菜を食べることの喜びにもつながっていると感じています。

最近では、ゆい農園での無人販売にも取り組み始めました。無人販売は野菜の収穫の関係もあり、不定期ではありますが、地域の方々が気軽に野菜を購入していただける販売所を目指していきます。お近くに来られた際には、ぜひゆい農園に足を運んでいただければ幸いです。

(生活支援員／齊藤)

自立訓練（生活訓練）



自立訓練が独立してから9か月が経ちました。少ない人数ならではの活動を多く実施してきました。コロナウイルスの影響で自粛していた調理実習や買い物学習は10月から感染対策を行いながら実施しており、利用者様の笑顔がたくさんみられました。また、製作活動にも力を入れてクリスマスリースやカレンダーなどを製作して様々な活動に挑戦することができました。身辺自立も積極的に行い、特に弁当箱洗いや洗濯干し・たたみはどんどん素早く丁寧にできるようになったと感じています。今後も利用者様一人ひとりが成長できる環境を提供して参ります。

(生活支援員／鈴木)

生活介護



生活介護はコロナウイルスの影響で外出での屋外活動を減らして活動していますが、その状況をプラスに活かすよう運動や製作を工夫して活動しています。今までの習慣からの変更にご利用者の戸惑いが心配でしたが、心配をよそに元気に笑顔で活動を行っています。また、調理実習や買い物学習を取り入れ、制限が多いこの期間にも楽しさを失わぬように活動しています。まだコロナウイルスの見通しが立たず、インフルエンザや風邪も流行る時期なので利用者様の体調・健康管理にも気を配り、今後も身体機能の向上を目指して活動していきます。

(生活支援員／柴田)

放課後等デイサービス



放課後等デイサービスは、身体を動かす活動を中心に行っています。コロナ禍での活動自粛の経験から、体験・体感・自己表現の大切さを再認識し、それらを意識した活動を行っています。コロナウイルス感染予防を実施しながら、茶道や習字、自然と触れ合うネイチャーゲーム等を利用者様主体の自由なやり方で行っています。より体感できるよう、ストレッチやダンス、体幹トレーニング、メディシンボール等を行い、感覚統合と体幹トレーニングを意識した体づくりを行っています。今後も保護者様と連携しながら、様々な経験・体感ができるような活動を考え、一人ひとりに合った活動、寄り添った支援をしていきたいと思っています。

(生活支援員／川原吹)